

情報基礎実習 第9回

2017年6月15日(木)、6月16日(金)

担当教員：逸村裕、小泉公乃

TA：木曜 中田周育 小林俊貴 末岡真里奈

金曜 久保田正啓 伊川真以 小室祐樹

1. 本日の主な内容

レポートや卒業論文の執筆の際に Google や Bing 等の商用サーチエンジンのみを使って学術論文を検索するだけでは不十分である。第9回の授業では、図書館情報学関連のデータベースと引用文献情報が含まれるデータベースを実際に利用することで、これまでに学んできた学術論文を検索するスキルを確実に修得する。

また、図書館情報学関連の用語が持つ概念を正しく理解することが研究をする上で必ず求められることであり、その概念を正しくキーワードとして表現することが情報検索をする上での必須条件となる。したがって、本日はデータベースの検索のみならず、図書館情報学関連の事典 (Encyclopedia of Library and Information Science Online) についても、実際に活用してもらおう。

2. 図書館情報学の事典

- Encyclopedia of Library and Information Science Online
 - ・ <http://www.tandfonline.com/doi/book/10.1081/E-ELIS3>

3. 図書館情報学関連・引用文献情報データベース

- Library and Information Science Abstracts(LISA)
- Library, Information Science & Technology Abstracts(LISTA)
- Library Literature & Information Science Index(LLISI)
- Web of Science
- Google Scholar, Google Scholar Citations

【出席課題1】

Encyclopedia of Library and Information Science Online を活用し、「Catalogs と Rare Book」の定義を調べ、用語と定義（定義は一部で構わない）の原文と和訳したものを Lab2017.docx に回答しなさい。また、同様に「テクニカルサービス」を調べ、その構成要素と説明を Encyclopedia of Library and Information Science Online を基礎に記述しなさい。すべてについて回答したものを印刷した上で、1限終了時まで提出せよ。

【演習課題 1】

被引用数とは何か説明せよ。また、実際に Web of Science を用い、図書館情報学関連キーワード（何でも構わない）で検索した結果に基づいて、Web of Science 上において被引用数がどのように表示されるのか具体的に説明せよ。スクリーンショットなどを用いて、できるだけわかりやすく説明すること。

【演習課題 2】

Sheila Corral が第一著者の学術論文（Web of Science に収録）のうち最も被引用数の多いものは何か。また、その被引用数は何件か。その学術論文を引用している文献リストを SIST02 に基づいて作成しなさい。

【演習課題 3】

LISA、LISTA、LLISI の 3 つのデータベースの特徴（収録範囲、内容等）について、実際に図書館情報学関連のキーワード（例、Catalog 等）を 3 つ以上用いてデータベースを検索し、その 3 つの結果を比較しつつ説明しなさい。その際にキーワードは何を用いても構わない。

【演習課題 4】

Web of Science と Google Scholar の特徴（収録範囲、機能等）について、実際に図書館情報学関連のキーワード（例、Catalog 等）を 3 つ以上用いてデータベースを検索し、その 3 つの結果を比較しつつ説明しなさい。キーワードは何を用いても構わない。

今回のレポート課題

- 締め切り
 - 木曜クラス：6月21日（水）15:00
 - 金曜クラス：6月22日（木）15:00
- 内容
 - 演習 1～4 への回答を記せ。
- 提出先
 - 春日エリア 7B 棟 2 階 図書館情報エリア支援室学群教務前のレポートボックス
- 書式
 - Lab2017.docx を適宜書き換えて使用し、1 ページ/枚で A4 片面印刷。複数枚になる場合はステイプラー（針無しは不可）で左上 1 箇所を綴じよ
- 備考
 - 課題名は、「学術論文データベースの特徴」とする。
 - これまでのテキストや演習中、返却したレポート内などで指示・指摘された細かいレポート書式（ページ番号の付与や使用フォントなど）はすべて遵守すること。既に周知した「書式」と「文体」を満足していなかった場合は減点の対象とする
 - 締め切りを超過した場合、最大で未提出扱いとする大幅な減点を行う
 - 提出先を誤った結果として教員の手元に届くのが遅れた場合、締め切りを超過した場合と同等の扱いとする
 - レポート中のあらゆる箇所において手書きは不可とする

- 提出後におけるいかなるレポートの差し替えも認めない
- レポートの中に図表を用いて構わない